

## [子育てに関する職業ガイド]

- 『保育士になるには』 田辺敦子,金子恵美編著 ペリかん社 2000年  
ISBN 978-4-8315-0904-8
- 『幼稚園教師になるには』 森上史朗,平田圭子著 ペリかん社 1999年  
ISBN 978-4-8315-0756-3
- 『保育士まるごとガイド』 全国保育士養成協議会監修 ミネルヴァ書房 2001年  
ISBN 978-4-623-03863-3
- 『子どもとふれあう仕事』 学習研究社 2003年 (好きな仕事実現シリーズ)  
ISBN 978-4-05-402299-7

### 保育に関する物語

#### 『みんな一緒にバギーに乗って』

川端裕人著 光文社 2005年  
(光文社文庫 2008年 もあり)  
ISBN 978-4-334-74458-8

ある区立の保育園に配属された3名の新人保育士。そのうちの1人、竜太はなかなか仕事に自信が持てないでいる。そんな彼の受け持ちに、組の輪に入れない子がいたが・・・。



### インフォメーション!

社団法人 全国保育士養成協議会  
ホームページ

<http://www.hoyokyo.or.jp/>

保育士に関わる人の教育や保育士試験を行う事業を行っている、保育士を養成する学校が会員の団体のサイト。

保育士試験や受験の手引きなどの情報が掲載されている。

## キャリアデザイン 2

# 小さな子供を育てる

子供を見よう。子供と触れ合おう。子供の側に立とう。

#### 『バオバブ広場にようこそ!』

遠山洋一著 筒井書房 1997年  
ISBN 978-4-88259-056-9

保育園は、子供のために親と保育者が協同して子育てする場であり、仕事を持つ家庭を支える場である。同時に地域の人にも開かれた「子育ての広場」でもある。

この考えを、広場に入出入りする人達に伝えて行きたい。  
園長は、園だよりに綴り、メッセージを発信していく。



東京都立多摩図書館

<http://www.library.metro.tokyo.jp/j>

平成21年5月

## 保育園・幼稚園



『男性保育士物語』 小崎恭弘著 ミネルヴァ書房 2005年

女性の聖域とされている保育の現場に飛び込んでいった男性保育士（著者）の実体験。

保護者たちとの初対面の様子、初めて受け持つ1歳児クラスでの奮闘・・・、そんな日常の仕事から、男性保育士の役割、子育てのありようを著者は考える。保育士の資格のとり方、男性保育士のネットワークなど、実際の仕事に役立つ情報も記載。

『さあ森のようちえんへ』 石亀泰郎写真・文 ぱるす出版 1999年  
ISBN 978-4-8276-0177-0

北欧の国、デンマークの森の幼稚園。ここでは子供たちは毎日森に出かける。一年中、雨の日も雪の日も、森の中で子供たちは遊び、お弁当を食べる。木々、草花、そして四季の変化、自然は生きる力を子供に与えてくれる。自然の中の子供たちの姿が生き生きと伝わってくる写真集。

NO  
IMAGE

## 子供たちの素敵な世界



『赤ちゃん 成長の不思議な道のり』 安川美杉著 日本放送出版協会  
2007年 (NHKスペシャル)  
ISBN 978-4-14-081177-1

生まれたばかりの赤ちゃんは、いつもすやすや眠っている、よく泣く、というイメージが。だが、語りかけに反応する、口に触れたものを思い浮かべるなど、実は赤ちゃんには、生まれながらにして成長していくための大きな能力が備わっているという。

近年急速に進んでいる赤ちゃん研究の成果を、本書で知ってほしい。

『こどものひろば』 亀村五郎編 東君平絵 福音館書店 1983年

「うんこ バイバイ」、「おかあさんのにおいが へやいっぱい」、「神様って おかねがだいすきななの？」・・・。  
子供のつぶやきっておもしろい、子供の発想ってすごい。そして、「つぶやき」は、つぶやいたその子そのもの。  
宝箱のようにたくさんの子供のつぶやきが集められている1冊。



『すべての子どもたちのために 子どもの権利条約』  
キャロライン・キャッスル文 池田香代子訳 ほるぷ出版 2003年  
ISBN 978-4-593-50426-8

「子どもの権利条約」は1989年、国連において正式に採択され、日本も批准している。この世界に住んでいるすべての子供は、平等にこの条約にある権利を持っている。子供に携わる仕事をする人にはぜひ理解しておいてもらいたい条約だ。本書は条約をわかりやすく抜粋、訳出した絵本。